オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V401Dからは操作できません。オプションサービスの詳細は「サービスガイドブック」をご覧ください。
- ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。
- ご契約のボーダフォン株式会社により一部の操作が異なります。
- ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申込み時にご確認ください。

サービスの種類

名　称	概　要
転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。(☛P13-3)
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスを設定しているときは除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。(☛P13-4)
割込通話サービス	今までお話ししていた相手との通話を保留にし、かかってきた別の電話を受けることができます。(☛P13-8)
三者通話サービス	二人での通話中に、もう一人に電話をかけ、三人同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話（切り替え通話）もできます。(☛P13-10)
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認したりできます。

補足

- V401Dでは、転送電話サービスと留守番電話サービスを合わせて、「秘書サービス」と呼びます。

オプションサービスのご利用にあたって

ご契約の地域により、お申込みが必要なサービスもあります。

－：お申込み不要で利用可能

オプションサービス	ご契約の地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	－	－	－
留守番電話サービス	－	お申込みが必要	お申込みが必要
割込通話サービス	お申込みが必要	お申込みが必要	お申込みが必要
三者通話サービス	お申込みが必要	お申込みが必要	お申込みが必要
発信者番号通知サービス	お申込みが必要	お申込みが必要	お申込みが必要

転送電話サービス

転送先の電話番号を登録する

1 を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「1.秘書サービス」を選択する

2 「1.Yes」を選び （選択）を押す

3 「1.着信転送」を選び （選択）を押す

4 「3.転送先設定」を選び （選択）を押す

5 転送先の電話番号を入力し （決定）を押す

転送先電話番号が設定され、「トウロク」と転送先の電話番号が表示されます。表示されないときは、操作1からやり直してください。

- 転送先を携帯電話やPHS、自動車電話にする場合は、電話番号全桁を入力してください。
- 一般電話の場合は、市内へ転送する場合でも、市外局番から入力してください。
- 登録済みの転送先番号を変更するときは、入力し直してください。

補足

- 以下の電話番号は転送先に登録できません。
  - 「1」からはじまる番号（110、118、119など）
  - 「0120」からはじまる番号（フリーダイヤル）
  - 「0990」からはじまる番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービスを開始する

- あらかじめ転送先の電話番号を登録しておく必要があります。

1 着信転送の設定画面を表示する

- 表示方法：「転送先の電話番号を登録する」操作**1**～**3**

2 転送時に着信音を鳴らすかどうかを選び （選択）を押す

転送電話サービスが設定され、「テンソウサービス ON」と表示されます。表示されないときは、操作**1**からやり直してください。

- 「2.呼出しなし」は関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ、ご利用になれます。

注意

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

補足

- 転送電話サービス開始後に電話がかかってきたときは、着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま通話できます。
- 転送時「呼出しなし」に設定しているときは、着信音は鳴らずに転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

転送電話サービスの設定状況を確認するには

- 関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ利用できます。

① を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「2.サービス確認」を選択する

②「1.秘書サービス」を選び （選択）を押す
「確認中」と表示されサービスの設定状況が表示されます。約15秒たつと待受画面に戻ります。

転送電話サービスを停止する

1 を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「1.秘書サービス」を選択する

2「3.No」を選び （選択）を押す

転送電話サービスが停止され、「ヒショサービス OFF」と表示されます。表示されないときは、もう一度やり直してください。

留守番電話サービス

北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、別途お申込みが必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「1.秘書サービス」を選択する

2「1.Yes」を選び （選択）を押す

3「2.留守番電話」を選び （選択）を押す

4 転送時に着信音を鳴らすかどうかを選び (選択) を押す

留守番電話サービスが設定され、「ルスバンサービス ON」と表示されます。表示されないときは、操作1からやり直してください。

- 転送する際にV401Dの着信音を鳴らすときは「1.呼出しあり」を選択、鳴らさないときは「2.呼出しなし」を選択（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

注意

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

補足

- 留守番電話サービス開始後の着信中に電話がかかってきたときは、着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま通話できます。
- 「呼出しなし」に設定しているときは、着信音は鳴らずに転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。
- 留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域により異なります。詳しくは、「サービスガイドブック」をご覧ください。
- 留守番電話サービス停止時に電話がかかってきたときは、着信音が鳴っている間に (機能) を押し、ポップアップメニューから「留守電転送」を選択します。
  - 関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に利用できます。
  - 電波状況などにより留守番電話センターに接続できないときは、「ご利用になれません」と表示されます。

留守番電話サービスを停止する

1 を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「1.秘書サービス」を選択する

2 「3.No」を選び (選択) を押す

留守番電話サービスが停止され、「ヒショサービス OFF」と表示されます。表示されないときは、もう一度やり直してください。

伝言メッセージを聞く

- 留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときに次の操作を行うと、右の画面が表示されます。約15秒たつと自動的に消えます。
  - ・電源を入れたとき　　・通話を終了したとき
  - ・一定距離を移動したとき（一定距離とは、市街地の場合は数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です）
- 電波の届かない場所にいるときやオフラインモード中は右の画面は表示されません。

13

オプションサービス

メッセージを再生する

1 留守番電話サービスの設定画面を表示する

● 表示方法：「留守番電話サービスを開始する」操作**1〜3**（☛P13-4）

2「3.再生（センター）」を選び ◉（選択）を押す

留守番電話センターに電話がかかります。以降は、アナウンスに従って操作してください。

● センター番号の変更：「4.センター番号変更」を選び ◉（選択）→ クリア を1秒以上押す→新しいセンター番号を入力し ◉（決定）

留守番電話サービスの設定状況の確認

●関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ利用できます。

① ◉ を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「2.サービス確認」を選択する

②「1.秘書サービス」を選び ◉（選択）を押す

「確認中」と表示されサービスの設定状況が表示されます。約15秒たつと待受画面に戻ります。

補足

● V401Dから伝言メッセージを聞くと、1416は消えます（一般電話や公衆電話からメッセージを聞いたときは消えません）。

転送電話／留守番電話の呼出時間設定

お買上げ時 20秒

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービス、または留守番電話サービスを開始しているときに、V401Dにかかってきた電話が転送されるまでの呼出時間（V401Dの着信音が鳴る時間）を、5〜30秒（5秒単位）の間で設定できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、設定できません。また、一般電話からは設定できません。
- 設定内容は、ご契約のボーダフォン株式会社のサービスエリア内で有効です。ご契約のボーダフォン株式会社以外のサービスエリアでは、呼出時間はお買上げ時の設定となります。
- 「呼出しなし」（転送時に着信音を鳴らさない）にしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

1 を押し、「設定」▶「付加サービス」▶「1.秘書サービス」を選択する

2 「1.Yes」を選び （選択）を押す

3 「3.転送時間」を選び （選択）を押す

4 時間を選び （選択）を押す

呼出時間が設定され、「トウロク」と表示されます。表示されないときは、操作**1**からやり直してください。

注意

- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV401Dの簡易留守録（☛P12-3）と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。
  例： 各サービスの呼出時間…10秒
  　　 簡易留守録の呼出時間… 9秒
  と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状態により優先順位が変わることがあります。）
  また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。